



S Y L L A B U S

平成23年度高大連携授業

前期授業要目

(科目概要)

大学コンソーシアムあきた

目 次

1	英語文化・言語・教育・コミュニケーション学入門	(秋田大学)	1
2	Active Learning for Language Mastery	(秋田大学)	2
3	高校と大学の間にあるもの	(秋田大学)	3
4	ジェンダー論	(秋田大学)	4
5	高校英語から大学英語へ	(秋田大学)	5
6	実験・観察・解剖で学ぶ大学の生物学	(秋田大学)	6
7	高校生のためのサイコロジカルカフェ	(秋田大学)	7
8	生命科学への招待	(秋田大学)	8
9	高齢化社会とバリアフリー	(秋田大学)	9
10	生き物たちの不思議な世界に学ぶ	(秋田県立大学生物資源科学部)	10
11	応用生物学への招待	(秋田県立大学生物資源科学部)	11
12	アグリビジネス	(秋田県立大学生物資源科学部)	12
13	秋田の自然と環境を科学する	(秋田県立大学生物資源科学部)	13
14	低炭素社会って何だろう？	(秋田県立大学木材高度加工研究所)	14
15	電子技術はどのように使われているか	(秋田県立大学システム科学技術学部)	15
16	コンピュータ、役に立ちます	(秋田県立大学システム科学技術学部)	16
17	3次元CADを使ってデザインしてみよう	(秋田県立大学システム科学技術学部)	17
18	高校数学から大学への数学へ	(秋田県立大学システム科学技術学部)	18
19	プログラミング演習/初級編	(秋田県立大学システム科学技術学部)	19
20	暮らしを支える数学	(秋田県立大学システム科学技術学部)	20
21	国際教養学への招待	(国際教養大学)	21
22	Welcome to Listening and Dictation	(国際教養大学)	22
23	高校生のための経済学・経営学入門	(ノースアジア大学)	23
24	楽しい国際観光in秋田	(ノースアジア大学)	24
25	観光とまちづくり	(ノースアジア大学)	25
26	看護の魅力と可能性	(秋田看護福祉大学)	26
27	福祉について	(秋田看護福祉大学)	27
28	高校生のための看護学入門	(日本赤十字秋田看護大学)	28
29	魅力発見!美術・工芸の世界	(秋田公立美術工芸短期大学)	29
30	かたちづくりの世界・パート 1	(秋田公立美術工芸短期大学)	30
31	食品と栄養の基礎知識	(聖霊女子短期大学)	31
32	哲学 はじめの一歩	(聖霊女子短期大学)	32
33	初めての言語学	(聖霊女子短期大学)	33
34	ようこそ保育の道へ	(聖霊女子短期大学)	34
35	暮らしを創る介護福祉とは	(日本赤十字秋田短期大学)	35
36	楽しく学べる保育入門	(聖園学園短期大学)	36
37	2×4 (ツーバイフォー) で家を建てよう	(秋田職業能力開発短期大学校)	37
38	CADによるものづくりを体験してみよう!	(秋田職業能力開発短期大学校)	38
39	ソフトウェア開発のしくみ	(秋田職業能力開発短期大学校)	39

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田大学				
科目名 (サブタイトル)	英語文化・言語・教育・コミュニケーション学入門 ～英語の楽しさ再発見～	科目	(学部・学科) 教育文化学部教科教育学講座						
		担当者	(職・氏名) 教授 佐々木 雅子						
授業概要									
<p>大学での英語というのは単に「英語」という科目があるわけではない。大学で「英語教育」といった場合、大きく分けて「英語という言語そのものを研究する」、「英語の文化的背景を研究する」、「英語教育・学習の心理や社会的要因を研究する」、「道具として使える英語能力を高める」この4つに分かれる。この授業では、これら各分野および留学について、秋田大学の担当教員が講義を行う。</p>									
授業方法と留意点		<p>担当教員の話聞くだけでなく、視覚教材を通して英語学習を体験したり、実際に学習活動をしてもらうこともある。受講者は特に大学で「英語」を専攻しようとする方でなくても構わない。英語が苦手だという人もまた新しい視点から見直す機会になるものと期待する。</p>							
授 業 計 画									
第1講		外国語習得の心理と原理（外国語はこうして学ぶ） －英語を通して世界とつながるために－			教授 佐々木雅子				
第2講		英語学と英語学習			教授 星 宏人				
第3講		ジェンダーとさまざまな言語			准教授 三宅 良美				
第4講		アメリカ文学を読む －文学表現の英語			准教授 中尾 信一				
第5講		英語、留学、コミュニケーション －英語を通して世界とつながる			准教授 若有 保彦				
テキスト	随時、担当者が配布します。								
参考文献	各担当者が授業で紹介します。								
開講時期	前期	水曜日	17:30～19:00	開講日	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田大学				
科目名 (サブタイトル)	Active Learning for Language	科目	(学部・学科)	教育推進総合センター					
	Mastery ～語学習得のためのアクティブラーニング～		担当者	(職・氏名)	助教 Joe Sykes				
授業概要									
<p>This course will provide students with self-awareness and skills necessary to master a language.</p> <p>このコースを通して参加者は外国語を習得するために必要な自己認識と能力を身に付けます。</p>									
授業方法 と留意点	This course will held in English. A maximum of 30 students may join.								
	<p>There will be 5 lessons in total.</p> <p>本コースは英語で行います。</p> <p>このコースの最大収容人数は30人で5回の授業を行います。</p>								
授 業 計 画									
<p>The course will help students to find ways of studying which suit them best. Students will have an opportunity to experience a number of activities which are designed to help their English develop.</p> <p>このコースでは、自分の学習スタイルに合う勉強方法を見つけることを狙いとします。</p> <p>参加者は、いろいろな英語能力を向上させるための語学学習アクティビティーを経験することができます。</p> <p>Lesson1: SLA introduction; Needs analysis; Learning styles.</p> <p>Lesson2: Learning Vocabulary</p> <p>Lesson3: Learning Grammar</p> <p>Lesson4: Reading and Writing</p> <p>Lesson5: Speaking and Listening</p> <p>※All students must bring a dictionary.</p> <p>受講生は英和辞典を持参してください。</p>									
テキスト									
参考文献									
開講時期	前期	木曜日	17:30～19:00	開講日	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田大学					
科目名 (サブタイトル)	高校と大学の間にあるもの ～大学「学習」論入門～			科目	(学部・学科) 教育推進総合センター					
				担当者	(職・氏名) 准教授 細川和仁					
授業概要										
この授業では教育学あるいは学習論などの研究分野から、大学での教育・学習の実際や最近のトレンドについて講義します。自分自身のことを省察（せいさつ）しながら、大学で学ぶことの意義について考えていきましょう。										
授業方法と留意点	教員からの一方向の情報提供にとどまらず、教員と受講生、受講者間での議論や対話を重視しますので積極的に参加してください。また、この授業は特定の大学の入試情報等を提供するものではありません。									
授 業 計 画										
【予定】										
第1講 大学の「大衆化」って何？ 学歴意識、大学進学率、大学「全入」の時代、ユニバーサル化										
第2講 高校と大学の間にあるもの 進学の動機、不本意就学、学生生活の満足度、アドミッション・ポリシー										
第3講 高校の学びと大学の学び 学びの技法、単位制、大学の「学校化」										
第4講 大学と社会の間にあるもの グラデュエーションポリシー、社会人基礎力、コンピテンシー										
第5講 教育改善に努力する大学 FD、授業改善、シラバス、高大接続、CTC										
【到達目標】										
① 大学の教育・学習に関する基礎的事項について説明できる。										
② この授業を通じて得た知識・技能・経験を省察し、自分なりに意味づけできる。										
③ 他の受講生にわかりやすく説明したり、他の受講者の説明を聞いたり、建設的な意見交換ができる。										
テキスト	必要な資料は授業時に配布しますので、予め用意するものではありません。									
参考文献	授業時に紹介します。									
開講時期	前期	木曜日 17:30～19:00			開講日	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田大学				
科目名 (#がタイトル)	ジェンダー論 ～私の性について考えてみよう～			科目	(学部・学科) 教育文化学部教科教育学講座				
				担当者	(職・氏名) 教授 望月 一枝				
授業概要									
<p>ジェンダーという分析概念*を使用して社会を読み解く力をつけ、どのように社会と向き合い、生活していくべきかについて考える授業である。</p> <p>「女らしさ」「男らしさ」というものの見方が人間にどのような影響を与えてきたのか、具体的な問題を取り上げ考え合います。普段、何気なく従っている性別についての社会規範を客観的にとらえ、自分のキャリアの幅を広げよう。</p> <p>*概念とは、あるまとまった考え、ないしは、考えのセット。分析概念とは、ある社会現象を分析し、説明可能（＝理解可能）にするために使用する概念のこと。</p>									
授業方法と留意点	授業に積極的に参加し、社会について関心を持ち、深く考え、自己表現することが求められる。								
授 業 計 画									
<p>第1講 6月8日 ジェンダー視点で友情と恋愛を考える</p> <p>第2講 6月15日 ジェンダーと社会規範</p> <p>第3講 6月22日 学校の中のジェンダー</p> <p>第4講 6月29日 ジェンダーとキャリア形成</p> <p>第5講 7月6日 授業のまとめ</p> <p>担当教員 教育文化学部学校教育課程 教授 望月 一枝 就職・キャリア形成推進室 特任准教授 川畑 智子</p>									
テキスト	プリントを配布します。								
参考文献	必要に応じて紹介します。								
開講時期	前期	水曜日	17:30～19:00	開講日	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田大学				
科目名 (サブタイトル)	高校英語から大学英語へ ～英語学習の方法～			科目 (学部・学科)	教育推進総合センター				
				担当者 (職・氏名)	助教 濱田 陽				
授業概要									
<p>受験勉強のためだけの英語学習ではなく、高校での英語学習を大学での英語学習に生かすための学習方法や知識を習得すること。今までの英語学習を見直し、今後どのように進めていけばよいかを理解すること。</p>									
授業方法 と留意点	<p>参加者と教員が共同で作る授業である。 受け身の授業ではなく、自ら考え、行動し、楽しみながら学ぶ姿勢が望ましい。</p>								
授 業 計 画									
<p>第1講 高校英語とは？大学英語とは？英語学習とは？ 1. 高校英語と大学英語の違い・共通点 2. 英語学習とはなにか</p> <p>第2講 リスニング&スピーキング 1. リスニングの仕組み 2. リスニングのトレーニング方法 3. スピーキングの練習方法</p> <p>第3講 リーディング&ライティング 1. リーディングの仕組み 2. リーディングのトレーニング方法 3. ライティングのトレーニング方法</p> <p>第4講 受験勉強の生かし方 1. 入試問題演習 2. 模擬試験・練習問題活用方法の説明</p> <p>第5講 まとめ（第1講～第4講の復習と確認） ※毎回の講義後のリアクションペーパー（感想）と最終講のチェック問題</p> <p><その他> この授業は、秋田大学横手分校を会場に開講します。 住所 横手市駅前町1-21 Y²（わいわい）ぶらざ3F 電話 0182-38-8304</p>									
テキスト	授業時に用意します。								
参考文献	授業内で紹介します。								
開講時期	前期	水曜日	18:00～19:30	開講日	6/8	6/15	6/22	6/29	7/6
関連科目				会場	横手市	横手市	横手市	横手市	横手市

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田大学				
科目名 (サブタイトル)	実験・観察・解剖で学ぶ大学の生物学 ～実際に受講生が生物の観察・実験を行う～	科目	(学部・学科) 教育文化学部自然環境講座						
		担当者	(職・氏名) 准教授 石井 照久						
授業概要									
<p>大学での生物学は高校までの生物学とはかなり違います。暗記が多い科目に思いがちですが実はそうではありません。生物学は生命現象を捉えようとする学問で、すべて生き物から学んでいます。そのために生き物に問いかけること、すなわち実験・観察・解剖が重要で、大学ではこれらに重きを置いています。実験・観察・解剖によって生命の神秘がわかったり、新たな疑問が生まれたりします。</p> <p>この科目では、実験・観察・解剖を通して大学の生物学を体験してもらい、大学の生物学の楽しさを紹介したいと思います。そのため実際に生き物に触れたり、DNA抽出体験をしてもらったりします。</p>									
授業方法と留意点	テキストは特に指定しません。参考文献は、購入の必要はありませんが、興味があったら購入してください。								
授 業 計 画									
<p>第1講 大学の生物学はここが違う！ 生物学は面白い 役に立つ 生き物って？植物？動物？</p> <p>第2講 細胞をみてみよう！ 普段見慣れている生き物も細胞でできている 細胞は増える 細胞は死ぬ でもがん細胞は不死身？</p> <p>第3講 海の生物を知ろう！ 地表の約70%を占める海には多様な生物がいる 海の環境が悪化すると</p> <p>第4講 動物の体をみよう！ 動物の体は基本的には似ている 解剖をしてみよう</p> <p>第5講 遺伝子の正体であるDNAをみよう！ 遺伝子は何をしているか？ 親子が似ているだけではない</p>									
テキスト									
参考文献	「生物学超入門」大石正道著 日本実業出版社1300+税 「遺伝子時代の基礎知識」東嶋和子著 講談社1040+税 「“生きている”ってどういうこと」培風館1900+税								
開講時期	前期	火曜日	17:30～19:00	開講日	6/21	6/28	7/5	7/12	7/19
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

秋田大学

科目名 (サブタイトル)	高校生のためのサイコロジカルカフェ	科目	(学部・学科) 教育文化学部教育心理学講座					
		担当者	(職・氏名) 教授 森 和彦					
授業概要								
心理学の最新の内容を高校生にわかりやすく説明する、ワークショップ形式のサイエンスカフェです。								
授業方法と留意点	高校生に心理学の内容を科学的関心事として関心を持ってもらうために、授業というよりはワークショップによってわかりやすく、しかも役に立つ内容で提供する。							
授 業 計 画								
第1講	5月30日	コラージュ療法	教授	高田知恵子				
第2講	6月6日	夢分析	准教授	宮野 素子				
第3講	6月16日(木)	形にしてみよう!心のバランス	講師	北島 正人				
第4講	6月20日	心と脳の関係	准教授	中野 良樹				
第5講	6月27日	人間関係の心理学	講師	清水 貴裕				
第6講	7月4日	解決志向ブリーフセラピー	教授	柴田 健				
第7講	7月11日	錯覚の不思議	教授	森 和彦				
テキスト	授業ごとに資料を配付する。		開講日	5/30	6/6	6/16(木)	6/20	6/27
参考文献	各担当講師より紹介する。		会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ
開講時期	前期	月曜日 17:30~19:00	開講日	7/4	7/11			
関連科目	生物、倫理社会、保健体育、美術		会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ			

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

□従来型授業		■単位取得予約型授業		大学等名	秋田大学			
科目名 (#がタイトル)	生命科学への招待 ～ようこそ分子生物学の世界へ～	科目	(学部・学科) 工学資源学研究科					
		担当者	(職・氏名) 教授 伊藤英晃					
授業概要 生命現象の分子レベルで解明する分子生物学を通して、生命科学全般を最新の話題を含めてやさしく解説する予定。								
授業方法と留意点 生物の基礎知識は特に必要としません。 化学の基礎知識はある程度必要です。 生命科学に興味を持つ高校生を歓迎します。								
授 業 計 画								
パソコンとスライドを中心に授業を行う予定です。 第1講 5月20日 生物の進化 第2講 5月27日 動物細胞の小器官 第3講 6月3日 減数分裂と遺伝子 第4講 6月10日 染色体 - DNA 第5講 6月17日 タンパク質 第6講 6月24日 クローンと万能細胞 第7講 7月1日 iPS細胞 第8講 7月8日 分子生物学の招待のまとめとレポート作成								
テキスト	当日プリントを配布します。		開講日	5/20	5/27	6/3	6/10	6/17
参考文献	特になし。		会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ
開講時期	前期	金曜日17:30～19:00	開講日	6/24	7/1	7/8		
関連科目			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ		

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

□従来型授業

■単位取得予約型授業

大学等名

秋田大学

科目名 (サブタイトル)	高齢化社会とバリアフリー ～秋田戦略学Ⅲ～	科目	(学部・学科) 教育推進主管
		担当者	(職・氏名) 教授 川 東 雅 樹

授業概要

「秋田戦略学」は、秋田という地域が抱える課題を発見し、それぞれの課題解決の方策や展望について考察していく授業科目です。課題解決へのアプローチを特定の学問分野に限定せず、理系・文系という二分法を乗り越えて様々な観点から考察することを特徴としています。

「高齢化社会とバリアフリー」では、秋田県の高齢化という点について考えてみます。全国的に高齢化が進んでいる中で、秋田県の高齢化率は全国でもトップクラス、つまり最先端を走っています。これから迫ってくる高齢化社会を見据えて、社会システムのあり方、暮らしやすい町、地域のあり方などを、秋田から提案していくことができるのではないのでしょうか。

若い皆さんにもぜひ考えてもらいたいテーマです。多彩な専門分野の講師陣とバリアフリーという観点から社会を考えてみませんか？

授業方法
と留意点

教員からの一方向からの情報提供にとどまらず、教員と学生、学生間での議論や対話を重視します。皆さんに身近なテーマを取り上げる予定ですので積極的に参加してください。単位取得希望者は6回以上の出席がない場合、成績評価の対象としません。

授 業 計 画

◆授業内容（順番は仮なので、第1回の際にお知らせします）

◆科目コーディネーター 秋田大学医学部 教授 大 友 和 夫

第1講 授業の総論

第2講 バリアフリーはだれのため？

第3講 障がい理解

第4講 高齢者のバリアフリーと住宅改造

第5講 車いすのビューティフルデザイン

第6講 高齢者・障害者と医用福祉工学

第7講 高齢者理解

第8講 高齢社会である秋田の現状と課題、今後の課題

◆授業形態

各回で採用する授業方法は主に講義形式で、これに学生による調査、討議、報告等も加えていきます。また、複数の機関の教員で授業を担当します。

◆到達目標

- ・地域が抱えている課題の構造を図や表を用いて表現することができる。
- ・地域が抱えている課題の今後の展望について、自分なりの考えを文章にすることができる。
- ・秋田という地域が発展していくための作戦を述べるることができる。

評価方法	各回に、到達目標に応じた小レポートを課します。単位取得希望者は必須です。						
テキスト	指定しません。	開講日	6/2	6/9	6/16	6/23	6/30
参考文献	特になし。	会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ
開講時期	前期	木曜日 18:00～20:00 (小レポート記載時間を含む)	開講日	7/7	7/14	7/21	
			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田県立大学				
科目名 (サブタイトル)	生き物たちの不思議な世界に学ぶ			科目 (学部・学科)	生物資源科学部 生物生産科学科				
				担当者 (職・氏名)	教授 山本好和				
授業概要 生物生産科学科担当教員のオムニバス形式による講義。教員が研究材料としている生き物たちの不思議な世界へ導く。8名の教員が、研究材料を対象に研究することの面白さや楽しさを講義する。									
授業方法 と留意点	研究とは何かを教員の研究する姿勢から理解を進める。特に植物に対する興味を持つ高校生が受講することを期待する。各授業終了前に、簡単な授業の感想レポートを書いてもらいます。								
授 業 計 画									
第1日目 5月22日（日） 第1講 三吉 一光 准教授 「2万種の蘭から学ぶ多様性」 第2講 櫻井 健二 准教授 「神秘！リンゴの受精～遺伝子から結婚相手を見極める」 第3講 鈴木 英治 教授 「ラン藻30億年のバイタリティ」 第4講 藤 晋一 准教授 「ウィルスは生物なのか？」									
第2日目 5月29日（日） 第5講 藤田 直子 准教授 「澱粉の不思議」 第6講 中村 進一 准教授 「植物が持つ環境浄化機能」 第7講 小川 敦史 准教授 「ストレスに強い作物を作ることは可能か?!」 第8講 野下 浩二 助教 「匂いが結ぶ植物と昆虫の関係～化学の目で見る生き物たちの世界」									
時間配分（2日間共通） 第1講・第5講 9:30～11:00 第2講・第6講 11:10～12:40 （昼食時間） 昼食を持参 第3講・第7講 13:20～14:50 第4講・第8講 15:00～16:30									
テキスト	授業ごとに資料を配付します。			開講日	5/22	5/22	5/22	5/22	5/29
参考文献				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ
開講時期	前期	日曜日 1日4コマ		開講日	5/29	5/29	5/29		
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ		

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田県立大学				
科目名 (サブタイトル)	応用生物科学への招待 ～生物の不思議とその賢い利用法を探る～	科目	(学部・学科) 生物資源科学部 応用生物科学科						
		担当者	(職・氏名) 准教授 張 菡						
授業概要									
6回目を迎える当科目の授業では、化学から生物までのさまざまな応用研究を科学の視点から幅広く紹介するとともに、それらの特徴および能力を我々人類の生活に生かせる最新のバイオテクノロジーについて各分野の専門家が解説します。									
授業方法 と留意点	授業はオムニバス形式で行います。各授業の前半では担当者の専門分野に関する基礎知識を、後半では担当者が大学で行っている最前線の研究をそれぞれ紹介します。各授業終了前に、簡単な授業の感想レポートを書いていただきます。								
授 業 計 画									
第1講 6月18日 吉澤 結子 教授 「鏡像異性体の不思議」									
第2講 7月 2日 福島 淳 准教授 「光合成細菌と窒素固定細菌は世界を救うか」									
第3講 7月 9日 春日 和 助教 「土壌微生物からお宝を発掘しよう」									
第4講 7月16日 橋爪 克己 教授 「古くて新しいバイオテクノロジー、醸造」									
第5講 7月30日 張 菡 准教授 「美味しさの科学」									
テキスト	授業ごとに資料を配布します。								
参考文献									
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	6/18	7/2	7/9	7/16	7/30
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田県立大学			
科目名 (サブタイトル)	アグリビジネス ～農場から食卓までを支える総合科学～		科目	(学部・学科) 生物資源科学部 アグリビジネス学科				
			担当者	(職・氏名) 准教授 酒井 徹				
授業概要								
<p>アグリビジネス学科とフィールド教育研究センター所属の8人の教員が、各々の専門分野の視点から、日本と秋田の農業や食料をめぐる課題に対し求められる対応や研究について講義する。さらにアグリビジネス学科における独自の教育方法である「プロジェクト教育」の取組みについても紹介する。</p>								
授業方法 と留意点	<p>キーワードは「農業」、「環境保全」、「食」などである。 8人の教員のオムニバス方式とする。各回の講義のすすめ方は、専用のテキストとパワーポイントによる講義形式を基本とするが、討論も適時行う。</p>							
授 業 計 画								
<p>第1日目 6月12日（日）</p> <p>第1講 9:30～11:00 長濱健一郎 教授 「世界から見た日本の農業と食料」</p> <p>第2講 11:10～12:40 佐藤 正志 准教授 「リンゴ栽培における農薬削減技術と農薬飛散低減対策」</p> <p>第3講 13:20～14:50 嶋田 浩 准教授 「効率で考える土地利用型農業生産の特徴と課題」</p> <p>第4講 15:00～16:30 近藤 正 准教授 「農業生産と環境保全の課題と挑戦」</p> <p>第2日目 6月19日（日）</p> <p>第5講 9:30～11:00 伊藤 寛治 准教授 「飼料・環境問題と草地型畜産」</p> <p>第6講 11:10～12:40 濱野 美夫 准教授 「家畜生産と畜産物」</p> <p>第7講 13:20～14:50 乳井 恒雄 准教授 「食品の品質と機能性」</p> <p>第8講 15:00～16:30 酒井 徹 准教授 「食料の消費と安全性」</p>								
テキスト	独自に作成したテキストを配布する		開講日	6/12	6/12	6/12	6/12	6/19
参考文献			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ
開講時期	前期	日曜日	1日4コマ	開講日	6/19	6/19	6/19	
関連科目			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ		

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田県立大学			
科目名 (サブタイトル)	秋田の自然と環境を科学する ～身近な自然の再発見～		科目 担当者	(学部・学科) 生物資源科学部 生物環境科学科 (職・氏名) 教授 日高 伸				
授業概要 秋田県は、山や川、水田、畑など豊かな自然環境に恵まれている。この授業では、私たちの身近な環境（大気、土壌、森林など）について、自然現象のしくみやその役割、そして人間との関わりを科学的な視点で解説する。また、自然環境を保全・再生しながら、生物資源を有効に活用するための新しい技術を紹介する。								
授業方法 と留意点	それぞれの授業は1回で完結する内容だが、授業を連続して受講すると秋田県の自然や生物環境の全体像と相互のつながりを理解できるように組み立てている。人間との関わりの深い自然環境やその生物的・科学的な背景、環境修復のための技術、自然環境を生かした地域づくりなど、環境科学の持つ幅広さを伝えていく。							
授 業 計 画								
第1日目 7月3日(日) 第1講 蒔田 明史 教授 「秋田の文化的景観」 第2講 佐々木佳明 助教 「大気現象を科学する ～竜巻の話～」 第3講 井上みずき 助教 「森の脇役たちの生活史」 第4講 木口 倫 准教授 「秋田の環境をはかる ～川のなかの農業～」 第2日目 7月10日(日) 第5講 石川 祐一 准教授 「鉾山地域の不思議な植物を用いて土をきれいにする話」 第6講 高階 史章 助教 「環境保全と両立する農業生産」 第7講 中村 勝則 准教授 「秋田の自然を活かした地域づくり」 第8講 日高 伸 教授 グループ討論								
時間配分（2日間共通） 第1講・第5講 9:30～11:00 第2講・第6講 11:10～12:40 （昼食時間） 昼食を持参 第3講・第7講 13:20～14:50 第4講・第8講 15:00～16:30								
テキスト	授業ごとに資料を配布します。		開講日	7/3	7/3	7/3	7/3	7/10
参考文献			会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ
開講時期	前期	日曜日	1日4コマ	開講日	7/10	7/10	7/10	
関連科目			会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ		

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田県立大学				
科目名 (#がタイトル)	低炭素社会って何だろう？ ～私たちが知っておくべきこと～			科目 (学部・学科)	木材高度加工研究所				
				担当者 (職・氏名)	教授 高田 克彦				
授業概要									
この授業では低炭素社会の実現と地球環境保全との関係を学びます。特に講義では森林及び木材の基本的特性の理解、森林・木材の循環的利用による低炭素社会の実現について資料を基に概説します。									
授業方法 と留意点	この授業では授業計画に記載されている内容に関してオムニバス形式で進めます。 21世紀の地球環境保全に興味を持つ学生諸君の受講を期待します。								
授 業 計 画									
授業は以下の5つの講義を行います。内容はそれぞれのキーワードを参照してください。									
第1講	8月4日(木)	13:00～14:30	森林資源(1)	高田克彦 教授	世界の森林、日本の森林、森林の遺伝				
第2講	8月4日(木)	14:40～16:10	森林資源(2)	高田克彦 教授	植物(特に樹木)の生長、木材の組織構造				
第3講	8月5日(金)	10:30～12:00	木材資源(1)	栗本康司 教授	木材の主要成分、木材成分の有効利用				
第4講	8月5日(金)	13:00～14:30	木材資源(2)	山内秀文 准教授	木質系資源の有効利用				
第5講	8月5日(金)	14:40～16:10	木材資源(3)	飯島泰男 教授	LCA (Life Cycle Assessment)、木質住宅、リサイクル				
<p><その他> この授業は、秋田県立大学木材高度加工研究所を会場に開講します。 住所 能代市字海詠坂11-1 電話 0185-52-6900</p>									
テキスト	毎回の講義時に資料を配付します。								
参考文献	木材百科 (秋田県立大学・木材高度加工研究所編集)								
開講時期	前期	夏季集中		開講日	8/4	8/4	8/5	8/5	8/5
関連科目	森林生態学、森林遺伝学、樹木生理学他			会場	能代市	能代市	能代市	能代市	能代市

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

秋田県立大学

科目名 (サブタイトル)	電子技術はどのように使われているか ～LED, 液晶, 電波, 通信, 雑音(ノイズ)に関するトピックス～	科目	(学部・学科) システム科学技術学部 電子情報システム学科					
		担当者	(職・氏名) 教授 青山 隆					
授業概要								
我々の生活の随所に入り込んでいる電子技術について、その原理や応用などについての最新技術について授業を行う。								
授業方法 と留意点								
授 業 計 画								
第1講	「発光ダイオード (LED)のしくみとその使い方」	青山	隆	教授				
第2講	「液晶の光の不思議」	本間	道則	准教授				
第3講	「電磁気学とその応用を見てみよう」	戸花	照雄	准教授				
第4講	「電波はどのように利用されているか」	笹森	崇行	准教授				
第5講	「雑音のはなし」	岡本	洋	准教授				
テキスト								
参考文献								
開講時期	前期	金曜日 17:30～19:00	開講日	6/3	6/10	6/17	7/1	7/8
関連科目			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田県立大学				
科目名 (#がタイトル)	コンピュータ、役に立ちます ～パソコンのいろいろな活用法とその背景～	科目	(学部・学科)	システム科学技術部 電子情報システム学科					
		担当者	(職・氏名)	准教授 廣田 千明					
授業概要 私たちの身のまわりにある問題をコンピュータを使って解決するための、様々な技術の活用方法から、その基礎となる考え方までを、体験学習を交えながら楽しく学びます。									
授業方法と留意点	コンピュータを使った実習など体験型の学習を交えた授業を行います。								
授 業 計 画									
第1講	「コンピュータを使った問題解決」	廣田 千明	准教授						
第2講	「パケットの中身をみてみよう」	寺田 裕樹	助教						
第3講	「インターネットで動くソフトを作ろう」	能登谷淳一	准教授						
第4講	「音の仕組み、音を作る（創る）には」	渡邊 貫治	助教						
第5講	「折り紙で幾何学」	松下 慎也	助教						
＜その他＞ この授業は、秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。 住所 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 電話 0184-27-2000									
テキスト									
参考文献									
開講時期	前期	火曜日 17:30～19:00	開講日	6/7	6/14	6/21	6/28	7/5	
関連科目			会場	県大本荘	県大本荘	県大本荘	県大本荘	県大本荘	

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田県立大学				
科目名 (#がタ付)	3次元CADを使ってデザインしてみよう～モノづくりに必須な設計ツールで身近な物の形を考えよう～		科目	(学部・学科) システム科学技術学部 機械知能システム学科					
			担当者	(職・氏名) 助教 高橋 武彦					
授業概要									
<p>コンピュータ上で、3次元CADを用いて発想を具体的な形にするデザインを行う。これより、モノの形状を3次的に把握する際の考え方を学ぶ。</p>									
授業方法と留意点									
<p>演習主体で授業を行います。整合性と創造性を重視するので、形状・組み合わせが実現できる形で考えてください。わからない時は積極的に質問してください。</p> <p>教育用PCを使うため秋田県立大学本荘キャンパスで授業を行います。</p>									
授 業 計 画									
<p>第1講 6月13日 立体形状 → 平面、平面 → 立体形状とする際の考え方の説明 練習問題を用いた立体形状の把握の演習</p> <p>第2講 6月20日 3次元CADの使い方 スケッチ、ソリッド</p> <p>第3講 6月27日 3次元CADの使い方 アセンブリ、動作チェック</p> <p>第4講 7月 4日 身の回りがあるモノをデザインする 寸法、モデル化手順を紙面に描く 3次元CADを用いたデザイン</p> <p>第5講 7月11日 身の回りがあるモノをデザインする 3次元CADを用いたデザイン デザイン結果のレビュー</p> <p><その他> この授業は、秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。 住所 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 電話 0184-27-2000</p>									
テキスト									
参考文献									
開講時期	前期	月曜日	17:30～19:00	開講日	6/13	6/20	6/27	7/4	7/11
関連科目				会場	県大本荘	県大本荘	県大本荘	県大本荘	県大本荘

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田県立大学			
科目名 (#がタイトル)	高校数学から大学への数学へ ～大学での数学を見てみよう～	科目	(学部・学科)	システム科学技術学部 経営システム工学科				
		担当者	(職・氏名)	准教授 木村 寛				
授業概要 大学で学ぶ数学、応用数学について、高校生でもわかるように分かりやすく解説します。また現実問題を解決するために用いられている数学や、その数学的手法を紹介します。								
授業方法 と留意点	高校数学の予備知識は特になく、高校1年生からの受講が可能です。数学が得意、不得意に関わらず、興味をもっている人、大歓迎です。また数学の現代社会への活用法に興味がある人も大歓迎です。							
授 業 計 画								
第1講 6月14日 大学1年で学ぶ数学～解析学、線形代数学への招待～ 第2講 6月21日 いろいろな分野でよく用いられる数理手法～数理統計学への招待～ 第3講 6月28日 現実問題を解決する数学～最適化理論、数理計画法、ゲーム理論への招待～ <その他> この授業は、秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。 住所 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 電話 0184-27-2000								
テキスト	資料を配布します。							
参考文献								
開講時期	前期	火曜日	17:30～19:00	開講日	6/14	6/21	6/28	
関連科目				会場	県大本荘	県大本荘	県大本荘	

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田県立大学				
科目名 (サブタイトル)	くらしを支える数学 ～イснаサイエンス6の紙面から～	科目	(学部・学科) システム科学技術部						
		担当者	(職・氏名) 准教授 嶋崎 真仁						
授業概要									
<p>イснаサイエンス6で紹介した『くらしを支える数学』について、紙面で紹介しきれなかったことも含めて著者自身に語っていただきます。</p>									
授業方法 と留意点	<p>数学を勉強していても、何の役に立つのか判らず、勉強に身が入らない、という高校生の皆さんへ向けて、数学を実践で使用している現場からの声を届けたいと思います。これを利用して、大学の先生との対話を楽しんでください。</p>								
授 業 計 画									
第1講	7月11日(月)	イснаサイエンス『くらしを支える数学』の紹介	准教授	嶋崎	真仁				
		カーナビゲーションの数学	准教授	木村	寛				
第2講	7月12日(火)	電話の「つながらない」を考える	助教	稲川	敬介				
第3講	7月13日(水)	ゲームや映画を支える微分・積分	助教	青島	政之				
第4講	7月14日(木)	インターネットの安全を支える暗号	准教授	草苺	良至				
第5講	7月15日(金)	便利で美しいかたちに秘められた数	准教授	込山	敦司				
<p>＜その他＞ この授業は、秋田県立大学本荘キャンパスを会場に開講します。 住所 由利本荘市土谷字海老ノ口84-4 電話 0184-27-2000</p>									
テキスト	イснаサイエンス6『くらしを支える数学』（当日も配布予定）								
参考文献									
開講時期	前期	月～金	17:30～19:00	開講日	7/11	7/12	7/13	7/14	7/15
関連科目				会場	県大本荘	県大本荘	県大本荘	県大本荘	県大本荘

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	国際教養大学				
科目名 (サブタイトル)	国際教養学への招待 ～Invitation to International Liberal Arts～		科目	(学部・学科) 国際教養学部					
			担当者	(職・氏名) 教授 カービー・レコード					
授業概要									
<p>「国際教養学とは何か」を、国際教養大学の教員グループがそれぞれの専門分野の最先端の研究成果を踏まえながら、高校生向けにわかりやすく講義します。世界を理解するうえで何が重要か、大学で「学問」することがいかに楽しいか、国際感覚を身につけるには高校時代から何をどう準備すべきかをいろいろな角度から指導します。</p>									
授業方法と留意点		<p>授業は担当する教員によって、日本語あるいは英語で行います。生徒が事前に何かを準備する必要はありません。講義とQ&A(質疑応答)を組み合わせ、全体として演習、ワークショップのような形をとっていきます。</p>							
授 業 計 画									
<p>第1講「英語俳句」 (Kirby Record 教授) 6月11日 英語で「HAIKU」を作ってみませんか？英語に親しむ方法の一つとして、英語俳句を始めましょう。</p> <p>第2講「『食』から読み解く台湾の歴史と文化」 (山崎直也 助教) 6月18日 3.6万平方kmの土地に2,300万人が暮らす台湾。独特な歴史と多様な民族文化が織り成す複雑な魅力に満ちたこの島国を、「食」という身近な題材を切り口に、歴史と文化、日本および世界との関係を読み解きます。</p> <p>第3講「ちょっと翻訳してみましよう！」 (當眞正裕 講師) 7月2日 簡単な英文や英語会話文の翻訳を通して、英語と日本語のニュアンスの違いや、自然な日本語への訳し方などを一緒に考えてみましょう。できれば辞書も持参してください。</p> <p>第4講「Killing Heroes in “Apocalypse Now”」 (Darren J. Ashmore 准教授) 7月9日 映画「Apocalypse Now(邦題：地獄の黙示録)」を教材として、ベトナム戦争後のアメリカで議論された「戦争」と「平和」について、また映画の中で描かれている「ヒーロー」「アンチヒーロー」について考えます。</p> <p>第5講「ロシアの文化遺産・建築の名作」 (Alexander Dolin 教授) 7月16日 ロシアが世界に誇る文化遺産や赤の広場に代表される建築物について、映像を見ながら考察していきます。</p>									
テキスト	Ashmore准教授の授業の前に、「Apocalypse Now」を見ておくこと。(※サテライトセンターで視聴可能)								
参考文献									
開講時期	前期	土曜	13:30～15:00	開講日	6/11	6/18	7/2	7/9	7/16
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

国際教養大学

科目名 (サブタイトル)	Welcome to Listening & Dictation ～英語を聞いて書きとろう♪～	科目	(学部・学科) 国際教養大学 サテライトセンター
		担当者	(職・氏名) スタッフ 藤田 歩美

授業概要

授業や試験のためだけの英語ではなく、もっと英語を勉強したいと思えるステップを作れるよう分かりやすく、楽しく授業を進めていきます。授業ではリスニング&ディクテーション（書き取り）を主に勉強していきますが、最後の授業に各自で日本を紹介するスピーチを授業内で考えプレゼンテーション形式として留学生に聞いてもらいます。国際交流の場で困らないコミュニケーション能力をつける勉強をしましょう♪

授業方法
と留意点

授業ではリスニングとディクテーション（書き取り）の問題を実践的に解きながら、どんな勉強方法なのかを一緒に学んでいきます。筆記用具と辞書（電子辞書も可）を持参してください。

授 業 計 画

6月 5日 第1講（13:30～15:00）第2講（15:15～16:45）

「英語で日本を再発見！！」

少し短めの文をリスニングしてもらい、その後にディクテーションで聞こえた単語を書き取る勉強を中心に授業を進めていきます。

6月 12日 第3講（13:30～15:00）第4講（15:15～16:45）

「英語で日本を再発見！！」

少し長めの文をリスニングしてもらい、その後にディクテーションで聞こえた単語を書き取る勉強を中心に授業を進めていきます。

6月 19日 第5講（13:30～15:00）第6講（15:15～16:45）

「実際に英語で日本を紹介してみよう！！」

国際教養大学の留学生をゲストに迎えます。彼らにプレゼンテーションをしてもらいます。実践的なConversationの練習をしましょう。

※講義終了後に留学生と自由に「会話（おしゃべり）」できる時間を設けます。積極的に参加してください。

テキスト	各回にプリントを配布します。		開講日	6/5	6/5	6/12	6/12	6/19
参考文献			会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ
開講時期	前期	日曜日	13:30～16:45	開講日	6/19			
関連科目			会 場	カレッジプラザ				

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	ノースアジア大学				
科目名	高校生のための経済学・経営学入門 (サブタイトル) ～経済学は日常生活の知恵袋～	科目	(学部・学科) 経済学部経済学科	担当者	(職・氏名) 教授 白川 欽哉				
授業概要 経済学や経営学は、「堅い」イメージのある分野と思われがちです。しかし、この授業を受講すれば、日々の経済活動を身近に感じることができるはず。今回は、国際貿易、日本経済の戦後史、国家財政と消費税、西洋経済史をキーワードに講義します。日頃から、現代社会や政治経済、日本や世界の近現代史に興味を持っている人はもちろん、経済・経営系の大学の授業を体験したい方にお勧めです。									
授業方法と留意点 経済学・経営学の理論・政策・歴史という3つの柱を念頭に、一話完結の講義を、オムニバス形式で実施します。 今回の授業シリーズの終わりに、今回の講義の感想や今後聞いてみたい経済・経営のテーマ、トピック等についてアンケートをとります。									
授 業 計 画									
第1講：「食のグローバル化と経済の歴史」（教授 白川 欽哉） 交易の深化と拡大は、人々の暮らしを大きく変えてきました。講義では、トマト、唐辛子、じゃがいも等が中南米から世界に広がり、それが産業革命の前史となったことを紹介します。いつの世も「食」は、豊かさを実現するための大切な要素であることを確認しましょう。									
第2講：「為替レートと日本経済」（講師 前田 直哉） 為替レートの変動は日本経済にどのような影響を与えているのでしょうか？そもそも、為替レートとはどのようなメカニズムを通じて変動するのでしょうか？このような素朴な疑問について皆さんと一緒に考えていきたいと思います。									
第3講：「会計を勉強しておく、社会にデビューして出世するって本当？」（教授 海老川寿美夫） 会計の知識と技術を活用して、我が家の戦略家計簿（バランスシートなど）を作成してみよう。皆さんの家庭は、「大丈夫？」、「近々破綻？」、「あと2～3年もつ？」									
第4講：「日本経済はなぜ元気がないのか？」（教授 鈴木 達郎） 日本経済に元気なくなったのは、1991年のバブル崩壊以降です。2011年にまで至るこの20年間には、「長期停滞期」「失われた20年」と言われます。皆さんの生きてきた時代がすっぽりこの中に入ってしまう。なぜこのようなことが続くのでしょうか、考えてみます。									
第5講：「どうなる！？消費税」（講師 迫 一光） 借金漬けと言われる日本の財政状況を改善するために、いつも話題になるのが「消費税率の引き上げ」です。実際にそうなるのか？この素朴な疑問について、国の歳出や歳入の構造を理解しながら一緒に考えたいと思います。									
テキスト	講義中に資料を配布します。								
参考文献	特になし（講義中に高校生にも読んで欲しい本を紹介する）。								
開講時期	前期	金曜日	17:30～19:00	開講日	5/27	6/3	6/10	6/17	7/1
関連科目	会計学、日本経済論、国際経済学他			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	ノースアジア大学			
科目名	楽しい国際観光in秋田	科目	(学部・学科) 法学部観光学科	担当者	(職・氏名) 教授 向谷地 博 信			
(サブタイトル)	～国連、JALホテルズなど、長期海外生活の経験を語る～							
授業概要								
海外旅行や海外の仕事で楽しかったこと、海外の素晴らしい観光事情、観光と環境のこと、観光英語にチャレンジしようなど、楽しい国際観光についての講義です。								
授業方法と留意点	担当の教員たちは、海外旅行に何度も行ったり、国連の仕事でいろんな国で仕事をしたり、海外のいろんなホテルのマネジメントに関わってきました。この講座を受けて、海外旅行や海外での仕事の楽しさを聞いてみよう。							
授 業 計 画								
第1講								
「海外旅行や海外の仕事で楽しかったこと」								
1. 海外旅行をして楽しかったこと (三浦 薫)								
2. 海外のホテル経営をして楽しかったこと (向谷地博信)								
3. 海外の国連の仕事で楽しかったこと (石川 竹一)								
第2講								
「世界で脚光を浴びるドバイ」；「中国見たまま～NOW」 (向谷地博信)								
第3講								
「東南アジアの観光事情」 (石川 竹一)								
第4講								
「観光英検にチャレンジしよう」 (三浦 薫)								
～観光英検にチャレンジするには～								
テキスト	特になし。							
参考文献	特になし。							
開講時期	前期	金曜日	17:30～19:00	開講日	6/3	6/10	6/17	7/1
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

ノースアジア大学

科目名 (サブタイトル)	観光とまちづくり ～秋田市中心市街地のまち歩きをして～	科目 (学部・学科)	法学部観光学科					
		担当者 (職・氏名)	教授 道端 忠孝					
授業概要								
観光学科の学生も参加する予定です。みんなでワイワイまち歩きをして秋田市中心市街地を見つめ直し、魅力をアップさせる方法を考えましょう。								
授業方法 と留意点	秋田市中心市街地の魅力アップさせ、観光振興によるまちづくりを考えるために、まち歩きをして、みんなでワイワイ話し合います。							
授 業 計 画								
<p>第1講 ガイダンス（道端忠孝、井上寛、後藤忠志） 観光とまちづくりとは。秋田市中心市街地はどうか？ まち歩きの目的と方法。</p> <p>第2講 景観に配慮したまち造りを（後藤忠志） 角館のような武家屋敷街では、歴史的町並み造りがなされ成功しています。中心市街地が新生されつつある中、秋田市はどうでしょうか。実際に市街地を歩いて観察してみよう。</p> <p>第3講 歴史まちづくり法による千秋公園周辺のまちづくりを考える（道端忠孝） 平成20年に制定された歴史まちづくり法の概要とその活用法をお話して、千秋公園を少し散策し、佐竹資料館を見て、秋田市の核になるお城を中心にしたまちづくりを考えてみたいと思います。</p> <p>第4講 観光ユニバーサルデザインの視点から秋田駅周辺をまち歩きしよう（井上寛） 秋田のまちは全ての観光客に優しくできているのでしょうか。高齢者・障害者や外国人の視点から秋田駅周辺をまち歩きしてみよう。</p> <p>※ 第1講 7月1日のみ金曜日17:30～19:00の開講。 第2講～第4講は、ミニレクチャー後→フィールドワークを実施する。</p>								
テキスト	特になし。							
参考文献	特になし。							
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	7/1(金)	7/9	7/16	8/6
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

<input checked="" type="checkbox"/> 従来型授業 <input type="checkbox"/> 単位取得予約型授業		大学等名	秋田看護福祉大学					
科目名 (サブタイトル)	看護の魅力と可能性 ～看護学のこれからを探る～	科目 (学部・学科)	看護福祉学部看護学科					
		担当者 (職・氏名)	准教授 日景 真由美					
授業概要 看護学科教員が、各専門領域の授業（基礎看護学、成人看護学、在宅看護学、地域看護学）を通して、様々な場における看護を紹介し、その魅力をお伝えします。高度化する現代医療の中でも、人を「見る」「護る」看護の大切さと、その可能性を共に考えます。								
授業方法 と留意点	大学で行っている「看護学」の講義や演習を、身近に感じてもらえるような授業を展開します。							
授 業 計 画								
第1講	「地域で行われている看護を知る」	地域看護学	日景 真由美	准教授				
第2講	「訪問看護ってなあに？」	在宅看護学	佐藤 厚子	講師				
第3講	「脈を知る」	基礎看護学	黒澤 繭子	助教				
第4講	「コミュニケーションスキルを磨こう」	成人看護学	佐藤 純子	講師				
＜その他＞ この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。 住所 大館市清水2丁目3-4 電話 0186-45-1717								
テキスト	適宜資料を配布する。							
参考文献								
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	7/9	7/16	7/23	7/30
関連科目				会場	看護福祉大	看護福祉大	看護福祉大	看護福祉大

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

<input checked="" type="checkbox"/> 従来型授業 <input type="checkbox"/> 単位取得予約型授業		大学等名	秋田看護福祉大学						
科目名 (サブタイトル)	福祉について ～5日で学ぶ福祉の仕事～	科目 (学部・学科)	看護福祉学部福祉学科						
		担当者 (職・氏名)	教授 成田 猛						
授業概要 福祉学科教員が各専門領域としている最近のトピックスについて講義を行う。 受講生は福祉についてより理解を深めることが出来るであろう。									
授業方法 と留意点	授業に参加し福祉の仕事の理解を深めよう。								
授 業 計 画									
第1講	「人を助けること ～福祉の仕事のやりがい～」	高橋 和幸	准教授						
第2講	「福祉と人権」	坂東 一仁	講師						
第3講	「高齢化社会における介護について」	村田 道彦	講師						
第4講	「福祉と経済の結節点」	李 廷珉	准教授						
第5講	「カウンセリング技術」	成田 猛	教授						
<その他> この授業は、秋田看護福祉大学を会場に開講します。 住所 大館市清水2丁目3-4 電話 0186-45-1717									
評価方法									
テキスト	なし。								
参考文献	開講時必要に応じて紹介します。								
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	6/4	6/11	6/18	6/25	7/2
関連科目				会場	看護福祉大	看護福祉大	看護福祉大	看護福祉大	看護福祉大

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

日本赤十字秋田看護大学

科目名 (#がタイトル)	高校生のための看護学入門 ～「生きる」を支える人になる～	科目 (学部・学科)	看護学部看護学科					
		担当者 (職・氏名)	教授 宮 堀 真 澄					
授業概要								
各専門領域（基礎看護学、成人看護学、精神看護学、小児看護学、地域看護学）の看護やその活動を紹介することで、看護のこころ、ケアについて理解と関心を深める。								
授業方法と留意点	オムニバス形式で下記担当者によるリレー形式で講義を進めます。 講義は全てカレッジプラザにて夏季集中で行います。							
授 業 計 画								
8月4日(木)								
第1講	11:00～12:30	高校生のための基礎看護学 「看護と看護技術」	小坂	信子	准教授			
第2講	13:30～15:00	高校生のための成人看護学 「健康維持と増進へ向けた看護援助」	宮堀	真澄	教授			
第3講	15:15～16:45	高校生のための精神看護学 「心のケアの看護学」	牟田	能子	助教			
8月5日(金)								
第4講	11:00～12:30	高校生のための小児看護学 「子どもの成長発達に応じた事故の予防」	大高	恵美	講師			
第5講	13:30～15:00	高校生のための地域看護学 「地域における看護活動」	佐々木	亮平	助教			
			木下	彩子	助教			
テキスト	適宜、資料を配布します。							
参考文献								
開講時期	前期	夏季集中 (木・金)	開講日	8/4	8/4	8/4	8/5	8/5
関連科目			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	秋田公立美術短期大学			
科目名 (サブタイトル)	魅力発見！美術・工芸の世界 ～テキスタイル、漆、陶芸、鍍金、ガラス、木工、彫刻、彫金～		科目	(学部・学科) 工芸美術学科				
			担当者	(職・氏名) 学科長 松本 研 一				
授業概要 美術・工芸の世界は、多様な素材と、それに伴う独特な道具や技を駆使することで展開されています。講座を担当する講師は第一線の造形作家たちです。彼らの貪欲な創作活動によって培われた枝やものの考え方、あるいはアイディアの発想法などについて、具体的に解説します。 一口に美術・工芸といっても、その世界は広大かつ深遠です。受講生にとっては、広い世界の中にどこに何を求め、いかに立ち向かっていくかを考える絶好の機会です。								
授業方法と留意点	授業はオムニバス形式で、下記担当者によるリレー形式の講義及び実技です。 各講の授業会場に注意してください。美術工芸短大での開講授業の詳細は、第1講の授業時に連絡します。							
授 業 計 画								
第1講「テキスタイルについて」				准教授 長沢桂一				
テキスタイルの世界について、作品スライド等を用いて紹介及び解説を行う。								
第2講「立体のカー金属の温度－石の質感－ガラスの光－」				教授 島屋 純晴				
鍍金技法を中心に、金属・石材・ガラス等の素材として形創られる立体作品をスライドビデオ等で解説し、存在する『作品の意味』等・作家の制作活動の『社会的必然性』を考察し、立体作品の魅力に迫る。								
第3講「1,200℃のドロドロの溶けたガラス～素材の魅力をのぞいてみよう～」				教授 小牟禮尊人				
吹きガラス技法を使い、実際にコップを作ります。動きやすい服装で参加してください。 会場：秋田公立美術工芸短期大学（秋田市新屋大川町12-3）								
第4講「彫金技法とその可能性」				准教授 安藤康裕				
彫金、鍛金の技法や使用する素材を資料等で紹介。製作の魅力を解説する。								
第5講「漆工芸の魅力とその表現」				准教授 熊谷 晃				
漆工芸の魅力を、参考作品や実際に使う材料を持参して解説する。								
第6講「テラコッタを造ろう」				(会場：秋田公立美術工芸短期大学) 准教授 皆川嘉博				
人体モデル(コスケム)の自然な姿を観察し、テラコッタ粘土をつかって実際に制作する。								
第7講「染色の世界」				助教 森 香織				
伝統的な染色の世界や、様々な表現方法で展開される現代の染色作品を紹介する。								
第8講「土の魅力」				助教 安藤郁子				
土の特性とやきものづくりの魅力を解説する。								
第9講「木材工芸の魅力とその表現」				教授 松本研一、准教授 山岡 惇				
木の特性や技法・表現について、木材工芸の醍醐味を伝える。								
テキスト		開講日	5/21	5/28	6/4	6/11	6/18	
参考文献		会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	美短	カレッジプラザ	カレッジプラザ	
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	6/25	7/2	7/9	7/16
関連科目		会 場	美短	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ		

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

S y l l a b u s

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

秋田公立美術短期大学

科目名 (サブタイトル)	かたちづくる世界・パート1 ～デザインの思考と表現～	科目 (学部・学科)	産業デザイン学科						
		担当者 (職・氏名)	学科長 渡 邊 有 一						
授業概要									
<p>デザインの意味や目的について考察し、デザインの考え方、表現の方法、専門分野など、デザインを理解するための基礎的な学習を行う。情報、平面、立体、空間のそれぞれにおけるデザインの特徴、概要を解説し、人との関わりを考察する契機とする。デザイン分野に共通な「考えること、人に伝えること」の重要性を学ぶ。</p>									
授業方法 と留意点	<p>授業はオムニバス形式で、下記担当者によるリレー形式の講義。 全ての授業はカレッジプラザで行います。 15：15～16：45の時間帯で開講しますので注意してください。</p>								
授 業 計 画									
<p>第1講「イラストレーションの魅力」 助教 丸岡 慎一 イラストレーションの目的や考え方、その魅力について学生や作家の作品を通して紹介します。</p> <p>第2講「情報デザインとはなにか」 准教授 ベ ジンソク 世の中にあふれるほどの多くの情報を、とやえやすく視覚化していくことが情報デザインの役割です。身の回りの情報を引き出す方法を考えてみましょう。</p> <p>第3講「楽しいプログラミング」 教授 野村 松信、 助教 阿部由布子 情報システムとは、プログラミングとは、何でしょう？そして、プログラミングによるアート表現を紹介します。</p> <p>第4講「タイポグラフィ・デザインの魅力」 教授 官能 右泰 文字の誕生から文字の持つ魅力について、作品解説を通して紹介します。</p> <p>第5講「色の形」 准教授 金 孝卿 どのようなアートもデザインも色と形によって成り立ち、その中で色の形をどのように決めるか、という構成の方法論について講義します。</p>									
テキスト									
参考文献									
開講時期	前期	土曜日	15:15～16:45	開講日	5/21	5/28	6/11	6/18	7/2
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	聖霊女子短期大学				
科目名 (サブタイトル)	食品と栄養の基礎知識			科目 (学部・学科)	生活文化科				
				担当者	(職・氏名) 教授 塚田 三香子				
授業概要									
<p>栄養士養成課程で学ぶ栄養学、食品学、調理学、栄養指導論、食品衛生学といった分野について、基礎的で簡単な実験や実習も取り入れながら解説する。</p>									
授業方法 と留意点	<p>授業の目的は高校生向けに、食品と栄養に関する正しい知識を伝え、食生活に興味をもってもらうことである。これを機会に自分自身の食生活を振り返り、健康づくりに役立ててほしい。資料は、各講師が講義前にプリントで配る。また、実験や実習に必要なものも講師が準備するので、受講者の準備は筆記用具のみでよい。</p> <p>※最終回のみ7月3日（日曜日）開講。その他は土曜日に開講。</p>								
授 業 計 画									
<p>第1講：5/21(土)「健康と栄養」</p> <p>身体と栄養について学び、実際に体組成計（体重計に体脂肪率や筋肉量の測定機能などがついたもの）を用いて自己の身体状況を把握し、栄養状態について考えます。</p> <p>第2講：5/28(土)「野菜の調理特性と調理法」</p> <p>野菜はビタミンやミネラルを多く含み、美しい彩りや食感で楽しませてくれる食卓に欠かせないものです。身近な野菜の調理特性とおいしく調理するための方法など、実践に役立つ調理学を学びます。</p> <p>第3講：6/4(土)「食品成分とその働きについて」</p> <p>身近な食品にどのような栄養素が含まれ、それらはどのような働きをしているのか、理解しましょう。</p> <p>第4講：6/18(土)「食育は人間の『生を左右する』今の子どもの食生活は危ない」</p> <p>身長、体重といった子どもたちの体位は明らかに大きくなっていますが、果たしてそれは向上なのかどうか、医学的、健康栄養学的立場からは疑問もあります。食風土、食習慣、食環境からこのことについて学習しましょう。</p> <p>第5講：7/3(日)「食のリスクとは」</p> <p>残留農薬、汚染米、BSE、トリインフルエンザなど、食品の安全については話題が豊富ですが、実際には何をどれだけ心配すればいいのでしょうか。一緒に考えてみましょう。</p>									
テキスト	配布資料								
参考文献	定めない								
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	5/21	5/28	6/4	6/18	7/3(日)
関連科目	栄養学、食品学他			会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

聖霊女子短期大学

科目名 (サブタイトル)	哲学はじめの一步 ～学び、生きることの意味について～	科目 担当者	(学部・学科) 生活文化科 (職・氏名) 図書館長・教授 御子神 隆也					
授業概要								
<p>学ぶこと、生きることの意味について考える。人間は生きるために学ぶが、では生きること自体の意味とは何か。この問いは、最も基本的な問題でありながら、答えるのが最も難しい問いでもある。それを探るための基礎となるのは「人間とは何者か」を問うことである。これに対する答の例としてI・カントとM・シェーラーの人格主義を取り上げる。</p> <p>その思想を学ぶことを通して、生きる意味を探究するための知識や考え方を学習する。</p>								
授業方法 と留意点	<p>教育の役割は、生きる方法ばかりでなく、生きる意味を教えることにある。この授業では、その視点に立ち「生きるために何を学ぶか」という根本的な問いから出発して、個の尊厳と人間同士の関係性という人生の普遍価値へといたる道筋を示したい。</p> <p>その際高校生が理解しやすいように、身近な生活の中の具体例を挙げ、考えを述べさせながら、授業を進めたい。</p>							
授 業 計 画								
<p>第1講「人間について問うこと」 この問いへの答えを求める手かかりとして、①集団への帰属、②他者との関係性、③人格という三つの要素に基く人間の自己認識について学ぶ。中でも人格という人間性に注目し、それに対する理解を深める。</p> <p>第2講「カント哲学における人間」 カントは人間を、理性、道徳性によって規定した。この考えは「形式主義」の名のもとに批判を受けているが、人生の意味という問題にとっては積極的な意義がある。このことを、人間の自由と責任という側面から学ぶ。</p> <p>第3講「シェーラーの価値人格主義」 シェーラーは、人間の人格が価値の究極的な担い手であるとした。このことを学ぶ。そもそも「価値」とは何かを考え、「人それぞれ」とか「好みの問題」という「もの分けりのよい」考えでは済まない、ということに気づく。</p> <p>第4講「哲学的人間論の諸説」 西洋思想史において現れた「理性的人間」「感情的人間」「生産的人間」「遊ぶ人間」「我と汝の関係を結ぶ人間」「神のかたどり」などの人間観を紹介し、人間性、人間らしさとは何かを考える。</p> <p>第5講「生きることはすばらしいか (Life is beautiful?)」 この問いかけにはYesと答えたいが、どうしてそう言えるのか、理由を述べるのは簡単ではない。人生の希望は決してなくならない、生きる苦悩にさえ意味があるということをもV.E.フランクルの「夜と霧-絶滅収容所の体験記」を題材に考察し、生きる意味を学ぶしめくくりとする。</p>								
テキスト	講義内容をまとめたプリントを毎回配布する。							
参考文献								
開講時期	前期	水曜日 17:30～19:00	開講日	5/18	5/25	6/1	6/8	6/15
関連科目	会 場			カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	聖霊女子短期大学				
科目名 (サブタイトル)	初めての言語学 ～世界のすべての言語に共通するものとは～	科目	(学部・学科) 生活文化科						
		担当者	(職・氏名) 講師 ジョン・サーロー						
授業概要									
何気ない気持ちで毎日使っている言葉を意識する。国語・外国語を問わず、コミュニケーションの観点から言葉の深さや面白さを理解してもらう。									
授業方法 と留意点	授業の内容によって、講義・グループ討論やグループワークを行う。								
授 業 計 画									
第1講 言語学の説明（基本的な概念・用語の説明）									
第2講 音声学と音韻学（発音の仕方）									
第3講 形態論・統語論（単語の作り方・語順）									
第4講 意味論（言葉の意味を決めるのは誰なのか）									
第5講 社会言語学及び心理言語学（言葉の使い方）									
テキスト	なし。授業中にプリントを配布する。								
参考文献	なし。								
開講時期	前期	火曜日	17:30～19:00	開講日	5/31	6/7	6/14	6/21	6/28
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名

聖霊女子短期大学

科目名 (サブタイトル)	ようこそ保育の道へ	科目 (学部・学科)	生活文化科						
		担当者 (職・氏名)	教授 横山 智也						
授業概要									
生活こども専攻で開講されている「保育原理」「保育内容表現」「こども音楽」「幼児理解」「こどもの図画工作」の中から、下記のような内容で4人の教員が授業を展開します。									
授業方法 と留意点	講義と演習を組み合わせることで高校生にわかりやすく授業します。特別に準備することはありませんので、楽しく参加してください。 なお、第3講（7月3日）のみ日曜日、他は土曜日に開講します。								
授 業 計 画									
第1講	5月28日（土）	「ようこそ保育の道へ」	教授	岩田浩子					
「保育」とは何でしょう。これは江戸時代にはなかった言葉です。この授業では保育の歴史と現状を説明するとともに、保育の専門家である「保育者」になるにはどのような知識と技能を身につけ、どのように子どもと接することが大切かについてお話します。									
第2講	6月18日（土）	「コードネームを用いた簡単な伴奏づけ」	講師	酒井 貴					
子どもの歌を通して簡単な伴奏と弾き歌いを体験してみませんか。									
第3講	7月 3日（日）	「色はなぜ見えるのか」	教授	横山智也					
太陽の光がモノの色を決めています。そこには波長というものがあります。波長と色の関係、色が見える仕組みを解説します。									
第4講	7月16日（土）	「子どもを援助する-絵画療法に触れてみよう」	講師	織田栄子					
子どもが伸び伸びと自分を出せるような心理的援助法の一つである絵画療法について学び、実際に体験することができます。									
テキスト	なし。								
参考文献									
開講時期	前期	土曜日	13:30～15:00	開講日	5/28	6/18	7/3(日)	7/16	
関連科目				会場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	日本赤十字秋田短期大学				
科目名 (#がタイトル)	暮らしを創る介護福祉とは ～「生きる」を支える人になる～		科目 担当者	(学部・学科) 介護福祉学科 (職・氏名) 教授 三浦正樹					
授業概要									
暮らしと介護福祉、人を支える意味について講義と演習で理解を深めます。									
授業方法 と留意点	高等学校での社会福祉に関する学びを基礎に、介護福祉について講義と演習による授業を展開します。								
授 業 計 画									
第1講	8月4日(木)	13:00~14:30	教授	三浦正樹					
人間の尊厳を守る介護福祉活動とは									
第2講	"	14:45~16:15	教授	三浦正樹					
介護福祉の概況 歴史と現状について									
第3講	8月5日(金)	10:30~12:00	講師	高橋謙一					
高齢者及び障がい者の介護									
第4講	"	13:00~14:30	講師	高橋謙一					
認知症の理解と介護									
第5講	"	14:45~16:15	教授	村上照子					
(実技演習) 介護技術の基礎的知識と実際									
講師 高橋謙一									
<その他> この授業は、日本赤十字秋田短期大学を会場に開講します。									
住所 秋田市上北手猿田字苗代沢17-3									
電話 018-829-3000									
※第5講は内靴を持参し、動きやすい服装で参加してください。									
テキスト									
参考文献									
開講時期	前期	夏季集中		開講日	8/4	8/4	8/5	8/5	8/5
関連科目				会場	日赤短大	日赤短大	日赤短大	日赤短大	日赤短大

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業		□単位取得予約型授業		大学等名	聖園学園短期大学				
科目名 (サブタイトル)	楽しく学べる保育入門 ～子どもとともに歩む保育とは～		科目	(学部・学科) 保育科					
			担当者	(職・氏名) 教授 小林 建一					
授業概要									
保育関係専門科目の授業を複数の教員が内容紹介し、本学保育科を理解する一助にしよう。									
授業方法 と留意点	通年または半期完結型の一連の授業を、90分ひとまとめにして提供する。科目によって内容構成や授業展開の方法が異なることを理解したうえで、講義や演習に参加してもらう。								
授 業 計 画									
第1講	遊びの中の育ち（保育内容指導法）			教授	安藤 節子				
第2講	体が動く・心も動く（幼児体育）			教授	内藤 裕子				
第3講	紙で作ろう（図画工作）			准教授	小笠原京子				
第4講	音楽はリズム・メロディー・ハーモニー（音楽）			講師	東海林美代子				
第5講	心を育てるお話と絵本（児童文学）			准教授	寺田 和子				
第6講	保育の仕事ってどんなこと？（保育者論）			教授	国枝 幸子				
第7講	保育所・幼稚園の生活と遊び（教育・保育実習）			講師	猿田 興子				
第8講	子どもと言葉（保育内容）			助教	蛭田 一美				
テキスト				開講日	6/1	6/8	6/15	6/22	6/29
参考文献				会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ
開講時期	前期	水曜日 17:30～19:00		開講日	7/6	7/13	7/20		
関連科目				会 場	カレッジプラザ	カレッジプラザ	カレッジプラザ		

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名 秋田職業能力開発短期大学校

科目名	2×4（ツバハイワ）で家を建てよう (サブタイトル) ~木材で壁パネルを作って小屋を建てる体験実習~	科目	(学部・学科) 住居環境科																								
		担当者	(職・氏名) 講師 三浦 誠																								
授業概要																											
<p>枠組壁工法の構造を学び、一坪大の模擬家屋（躯体のみ）の施工を行う。</p>																											
授業方法と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・施工を通して枠組壁工法を学ぶ ・ものづくりに興味のある生徒を対象とする。 ・作業服又はこれに類する服を着用する。 																										
授 業 計 画																											
<p>8月4日(木)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">第1講</td> <td style="width: 25%;">10:30~12:00</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="width: 55%;">・枠組壁工法の概要（学科）</td> </tr> <tr> <td>第2講</td> <td>13:00~14:30</td> <td>・床・壁枠組み製法（実習）</td> </tr> <tr> <td>第3講</td> <td>14:45~16:15</td> <td></td> </tr> </table> <p>8月5日(金)</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">第4講</td> <td style="width: 25%;">10:30~12:00</td> <td rowspan="3" style="font-size: 3em; vertical-align: middle;">}</td> <td style="width: 55%;">・建て方（実習）</td> </tr> <tr> <td>第5講</td> <td>13:00~14:30</td> <td>・小屋組み（実習）</td> </tr> <tr> <td>第6講</td> <td>14:45~16:15</td> <td></td> </tr> </table> <p>参考文献：平成20年改訂 枠組壁工法住宅工事仕様書（解説付）住宅金融普及協会</p> <p><その他> この授業は、秋田職業能力開発短期大学校を会場に開講します。 住所 大館市字扇田道下6-1（秋北バスターミナルより徒歩15分） 電話 0186-42-5700</p>								第1講	10:30~12:00	}	・枠組壁工法の概要（学科）	第2講	13:00~14:30	・床・壁枠組み製法（実習）	第3講	14:45~16:15		第4講	10:30~12:00	}	・建て方（実習）	第5講	13:00~14:30	・小屋組み（実習）	第6講	14:45~16:15	
第1講	10:30~12:00	}	・枠組壁工法の概要（学科）																								
第2講	13:00~14:30		・床・壁枠組み製法（実習）																								
第3講	14:45~16:15																										
第4講	10:30~12:00	}	・建て方（実習）																								
第5講	13:00~14:30		・小屋組み（実習）																								
第6講	14:45~16:15																										
テキスト		開講日	8/4	8/4	8/4	8/5	8/5																				
参考文献	上枠に記載。	会場	職能短大	職能短大	職能短大	職能短大	職能短大																				
開講時期	前期	夏季集中(木~金)	開講日	8/5																							
関連科目	建築構法、建築施工実習		会場	職能短大																							

平成23年度高大連携授業＜前期＞授業要目（科目概要）

Syllabus

■従来型授業

□単位取得予約型授業

大学等名 秋田職業能力開発短期大学校

科目名 (サブタイトル)	CADによるものづくりを 体験してみよう！ ～簡単なマニピュレータの設計・製作によるものづくりの体験実習～	科目 (学部・学科)	生産技術科				
		担当者 (職・氏名)	教授 日景良一				
授業概要							
CADによるマニピュレータの設計を行い、その設計データに基いた部品を組み立てること で、コンピュータを使用した機械の設計方法や、ものづくりの世界を体験する。							
授業方法 と留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・設計・製作・組立を行う。 ・ものづくりに興味がある学生を対象とする。 						
授 業 計 画							
<p>8月18日（木）CAD実習</p> <p>第1講 10:30～12:00 ・ロボットハンドについて学ぶ</p> <p>第2講 13:00～14:30 ・CADの概要および操作方法について学ぶ</p> <p>第3講 14:45～16:15 ・CADを使用して設計してみる</p> <p>8月19日（金）総合製作実習</p> <p>第4講 10:30～12:00 ・部品・工具および組立方法について学ぶ</p> <p>第5講 13:00～14:30 ・製作実習</p> <p>第6講 14:45～16:15 ・製作実習</p> <p>※授業担当者が変更になる場合があります。</p> <p>＜その他＞ この授業は、秋田職業能力開発短期大学校を会場に開講します。</p> <p>住所 大館市字扇田道下6-1（秋北パスタミルより徒歩15分）</p> <p>電話 0186-42-5700</p>							
テキスト		開講日	8/18	8/18	8/18	8/19	8/19
参考文献		会場	職能短大	職能短大	職能短大	職能短大	職能短大
開講時期	前期	夏季集中	開講日	8/19			
関連科目		会場	職能短大				

